



UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of : Attorney Docket No. 2004_0287A
Yuzo SAKAMOTO : Confirmation No. 6053
Serial No. 10/797,134 : [Group Art Unit 3651]
Filed March 11, 2004 : Examiner Timothy R. Waggoner]
PAPER CONTAINER : Mail Stop ISSUE FEE

CLAIM OF PRIORITY UNDER 35 § USC 119

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

Applicant in the above-entitled application hereby claims the date of priority under the International Convention of Japanese Patent Application No. 2003-067221, filed March 12, 2003, as acknowledged in the Declaration of this application.

A certified copy of said Japanese Patent Application is submitted herewith.

Respectfully submitted,

Yuzo SAKAMOTO

By Joseph M. Gorski
Joseph M. Gorski
Registration No. 46,500
Attorney for Applicant

JMG/nka
Washington, D.C. 2006-1021
Telephone (202) 721-8200
Facsimile (202) 721-8250
July 25, 2006

**CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT**

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日 Date of Application: 2003年 3月12日

出願番号 Application Number: 特願2003-067221

[ST. 10/C]: [JP 2003-067221]

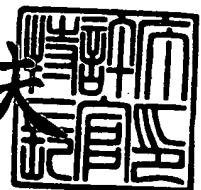
願人 Applicant(s): 株式会社坂本製作所

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2004年 3月18日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2004-200100-

BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願
【整理番号】 SAS030312A
【提出日】 平成15年 3月12日
【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿
【国際特許分類】 B65D 83/08
【発明者】
【住所又は居所】 埼玉県児玉郡神川町大字元阿保303番地 株式会社坂
本製作所内
【氏名】 坂本 優蔵
【特許出願人】
【識別番号】 594176073
【住所又は居所】 埼玉県児玉郡神川町大字元阿保303番地
【氏名又は名称】 株式会社坂本製作所
【代表者】 坂本 優蔵
【代理人】
【識別番号】 100080528
【弁理士】
【氏名又は名称】 下山 富士男
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 069915
【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9606956
【プルーフの要否】 要

【書類名】明細書

【発明の名称】紙容器

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する容器本体と、この容器本体の上面の一部を切開して形成した前記紙類の取り出し用の開口部とを有する紙容器であって、

前記開口部を形成する切れ目は、刃部の 1 ピッチが 0.1 mm 以上～ 3.0 mm 以下の範囲のウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とする紙容器。

【請求項 2】 ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する容器本体と、この容器本体の上面の一部を切開して形成した前記紙類の取り出し用の開口部とを有する紙容器であって、

前記開口部を形成する切れ目は、刃部の 1 ピッチが 0.1 mm のウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とする紙容器。

【請求項 3】 ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する直方体状の容器本体と、この容器本体の上面に形成した前記紙類の取り出し用の開口部とを有する紙容器であって、

前記開口部を、

中心の切れ目を境にして形成した一対の上下動フラップと、当該一対の上下動フラップの各後端部すなわち前記中心の切れ目とは逆の各部分に形成した一対の折り目と、前記中心の切れ目の左右両端部と前記一対の各折り目の左右両端部とを結んで形成した切れ目と、

からを形成した紙容器であって、

前記開口部を形成する各切れ目は、刃部の 1 ピッチが 0.1 mm 以上～ 3.0 mm 以下の範囲のウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とする紙容器。

【請求項 4】 ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する直方体状の容器本体と、この容器本体の上面に形成した前記紙類の取り出し用の開口部とを有する紙容器であって、

前記開口部を、

中心の切れ目を境にして形成した一対の上下動フラップと、当該一対の上下動フラップの各後端部すなわち前記中心の切れ目とは逆の各部分に形成した一対の折り目と、前記中心の切れ目の左右両端部と前記一対の各折り目の左右両端部とを結んで形成した切れ目と、

からを形成した紙容器であって、

前記開口部を形成する各切れ目は、刃部の1ピッチが0.1mmのウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とする紙容器。

【請求項5】 ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する直方体状の容器本体と、

この容器本体の上面に形成した全体としてほぼ長方形形状を呈し、中央側の取り出し操作用の一対の上下動フラップと、この上下動フラップの両側に左右対称形状に形成した一对ずつの側部フラップとからなり、一対の上下動フラップ間、一对ずつの側部フラップ間及び上下動フラップと側部フラップとの間、側部フラップの側辺と容器本体の上面を形成する上辺との間に各々切開による切れ目を、一対の上下動フラップ、一对ずつの側部フラップの各後端部に各々折り目を形成してなる前記紙類の取り出し用の開口部と、

を有する紙容器であって、

前記開口部を形成する各切れ目は、刃部の1ピッチが0.1mm以上～3.0mm以下の範囲のウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とする紙容器。

【請求項6】 ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する直方体状の容器本体と、

この容器本体の上面に形成した全体としてほぼ長方形形状を呈し、中央側の取り出し操作用の一対の上下動フラップと、この上下動フラップの両側に左右対称形状に形成した一对ずつの側部フラップとからなり、一対の上下動フラップ間、一对ずつの側部フラップ間及び上下動フラップと側部フラップとの間、側部フラップの側辺と容器本体の上面を形成する上辺との間に各々切開による切れ目を、一対の上下動フラップ、一对ずつの側部フラップの各後端部に各々折り目を形成し

てなる前記紙類の取り出し用の開口部と、

を有する紙容器であって、

前記開口部を形成する各切れ目は、刃部の1ピッチが0.1mmのウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とする紙容器。

【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】

本発明は、順に取り出される例えはティッシュペーパー等の紙類を積層収容する紙容器に関するものである。

【従来の技術】

従来、ティッシュペーパー等の紙類を積層収容するティッシュペーパー用容器として、例えは特許文献1に開示されたものが提案されている。

特許文献1に開示されたティッシュペーパー用容器は、容器の頂壁の一部に開口を設け、この開口を閉塞する樹脂製のフィルムを貼付し、フィルムにティッシュペーパー取り出し用のミシン目を設けたものである。

しかし、特許文献1のティッシュペーパー用容器の場合、開口に樹脂製のフィルムを貼付した構成であるため、製造時には、樹脂製のフィルムの作成、貼付作業が必要で製造コスト増を招くとともに、ティッシュペーパー用容器を使用済みとし廃棄する場合には、環境保護の見地から樹脂製のフィルムをティッシュペーパー用容器から剥離分別して廃棄することが必要となり、使用者に余分な手間を強いるという問題を包含している。

【特許文献1】

特開2002-002836号公報

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、上記従来の実情に鑑み開発されたものであり、上述した従来のティッシュペーパー用容器における樹脂製のフィルムを不要とし、且つ、ティッシュペーパー等の紙類の取り出し操作性に優れ、しかも、容器の開口時、開封時やティッシュペーパー等の取り出し時等において使用者の指を不用意に傷付けてしまうというような不都合も無く、また、ティッシュペーパー等の紙類を損傷してしまうというような不都合も無い高機能の開口部を備えた紙容器を提供することを

目的とするものである。

【課題を解決するための手段】

請求項1記載の発明の紙容器は、ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する容器本体と、この容器本体の上面の一部を切開して形成した前記紙類の取り出し用の開口部とを有する紙容器であって、前記開口部を形成する切れ目は、刃部の1ピッチが0.1mm以上～3.0mm以下の範囲のウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とするものである。

請求項2記載の発明の紙容器は、ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する容器本体と、この容器本体の上面の一部を切開して形成した前記紙類の取り出し用の開口部とを有する紙容器であって、前記開口部を形成する切れ目は、刃部の1ピッチが0.1mmのウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とするものである。

請求項3記載の発明の紙容器は、ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する直方体状の容器本体と、この容器本体の上面に形成した前記紙類の取り出し用の開口部とを有する紙容器であって、前記開口部を、中心の切れ目を境にして形成した一対の上下動フラップと、当該一対の上下動フラップの各後端部すなわち前記中心の切れ目とは逆の各部分に形成した一対の折り目と、前記中心の切れ目の左右両端部と前記一対の各折り目の左右両端部とを結んで形成した切れ目と、からを形成した紙容器であって、前記開口部を形成する各切れ目は、刃部の1ピッチが0.1mm以上～3.0mm以下の範囲のウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とするものである。

請求項4記載の発明の紙容器は、ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する直方体状の容器本体と、この容器本体の上面に形成した前記紙類の取り出し用の開口部とを有する紙容器であって、前記開口部を、中心の切れ目を境にして形成した一対の上下動フラップと、当該一対の上下動フラップの各後端部すなわち前記中心の切れ目とは逆の各部分に形成した一対の折り目と、前記中心の切れ目の左右両端部と前記一対の各折り目の左右両端部とを結んで形成した切れ目と、からを形成した紙容器であって、前記開口部を形成する各切れ目は、刃部の1ピッチが0.1mmのウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とす

るものである。

請求項 5 記載の発明の紙容器は、ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する直方体状の容器本体と、この容器本体の上面に形成した全体としてほぼ長方形形状を呈し、中央側の取り出し操作用の一対の上下動フラップと、この上下動フラップの両側に左右対称形状に形成した一対ずつの側部フラップとからなり、一対の上下動フラップ間、一対ずつの側部フラップ間及び上下動フラップと側部フラップとの間、側部フラップの側辺と容器本体の上面を形成する上辺との間に各々切開による切れ目を、一対の上下動フラップ、一対ずつの側部フラップの各後端部に各々折り目を形成してなる前記紙類の取り出し用の開口部と、を有する紙容器であって、前記開口部を形成する各切れ目は、刃部の 1 ピッチが 0. 1 mm 以上～ 3. 0 mm 以下の範囲のウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とするものである。

請求項 6 記載の発明の紙容器は、ティッシュペーパー等の紙類を積層収容する直方体状の容器本体と、この容器本体の上面に形成した全体としてほぼ長方形形状を呈し、中央側の取り出し操作用の一対の上下動フラップと、この上下動フラップの両側に左右対称形状に形成した一対ずつの側部フラップとからなり、一対の上下動フラップ間、一対ずつの側部フラップ間及び上下動フラップと側部フラップとの間、側部フラップの側辺と容器本体の上面を形成する上辺との間に各々切開による切れ目を、一対の上下動フラップ、一対ずつの側部フラップの各後端部に各々折り目を形成してなる前記紙類の取り出し用の開口部と、を有する紙容器であって、前記開口部を形成する各切れ目は、刃部の 1 ピッチが 0. 1 mm のウェーブ刃切断具により形成されたものであることを特徴とするものである。

本発明によれば、前記開口部を形成する上下動フラップの各切れ目、又は上下動フラップ及び側部フラップの各切れ目を、1 ピッチが 0. 1 mm 以上～ 3. 0 mm 以下、好ましくは 0. 1 mm のウェーブ刃形状とした構成により、ティッシュペーパー等の紙類の取り出し操作性、上下動フラップ、側部フラップによる紙類保持性、上下動フラップ、側部フラップの蓋機能による衛生面の確保、更には、容器の開口時、開封時やティッシュペーパー等の取り出し時等において使用者の指を不用意に傷付けてしまうというような不都合も無く、また、ティッシュペ

ーパー等の紙類を損傷してしまうというような不都合も無い各種の高機能の紙容器を提供することができる。

また、前記従来例のような樹脂製のフィルムの貼付が不要となり、製造コストの低廉化を図り、廃棄処理時の使用者の手間の簡略化が可能であり、地球環境にも優しくなる。

【発明の実施の形態】

以下に本発明の実施の形態を説明するが、本発明はこれに限定されるものではない。

図1は本発明の実施の形態に係る一例の紙容器1の外観を示すものであり、この紙容器1は、ティッシュペーパー等の紙類P（図5参照）を折り畳み状態で多数枚積層収容する直方体状の容器本体2と、この容器本体2の上面に形成した全体としてほぼ長方形状を呈し、中央側の取り出し操作用の一対の上下動フラップ3a、3bと、この上下動フラップ3a、3bの両側に左右対称形状に形成した一対ずつの側部フラップ4a、4b、4c、4dとからなる前記紙類Pの取り出し用の開口部10とを有している。

前記開口部10は、図2に拡大して示すように、前記一対の上下動フラップ3a、3b間、一対ずつの側部フラップ間4a、4b、4c、4d及び上下動フラップ3a、3bと側部フラップ4a、4b、4c、4dとの間、更には側部フラップ4a、4b、側部フラップ4c、4dの側辺と容器本体2の上面を形成する上辺2aとの間に各々切開による切れ目5を、一対の上下動フラップ3a、3b、一対ずつの側部フラップ4a、4b、4c、4dの各後端部に各々点線で示す折り目6を形成することにより構成している。

前記開口部10を形成する各切れ目5は、図3、図4に示すように、刃部11の1ピッチが0.1mm以上～3.0mm以下の範囲、好ましくは0.1mmのウェーブ刃切断具（波刃切断具）12を上型13に取り付け、下型14上に組み立て前の紙容器1を載置し、上型13を下型14に向けて落下させる成形型による切断加工にて形成している。

この結果、前記各切れ目5は、ウェーブ刃切断具（波刃切断具）12の刃部11に対応して1ピッチが0.1mm以上～3.0mm以下の範囲、好ましくは0

・ 1 mmの微小な刃形状を呈するようになっている。

前記切れ目5を、1ピッチが0.1 mm以上～3.0 mm以下、好ましくは0

・ 1 mmの刃形状とするのは、開口の容易さ、指操作による取り出し時の指の損傷防止の観点、紙類Pの押さえ機能、紙類Pとの接触時の引っ掛けり、傷付けの防止の観点を配慮したものである。

すなわち、前記切れ目5を1ピッチが0.1 mm未満の刃形状とすると、紙類Pの落下防止のための押さえ機能が不十分となり、1ピッチが3.0 mmを超えると、紙類Pとの引っ掛けり、傷付けの程度が大き過ぎてしまう。

前記折り目6は、ミシン目や、リード、ウェーブ又はストレートの刃、罫線付け等により形成している。

本発明においては、前記図1等に示す実施の形態に係る紙容器1の変形例として、この紙容器1を、容器本体2と、この容器本体2の上面に形成した前記紙類Pの取り出し用の開口部10とをもって形成し、当該開口部10を、中心部分の切れ目5を境にして形成した一対の上下動フラップ3a、3bと、当該一対の上下動フラップ3a、3bの各後端部すなわち前記中心部分の切れ目5とは逆の各部分に形成した一対の折り目6、6と、前記中心部分の切れ目5の左右両端部と前記一対の各折り目6、6の左右両端部とを結んで形成した切れ目5、5とからを形成し、しかも、前記開口部10を形成する各切れ目を、刃部の1ピッチが0.1 mm以上～3.0 mm以下の範囲、好ましくは0.1 mmのウェーブ刃切断具により形成するようにしても良い。

次に、図5乃至図9を参照して本実施の形態に係る一例の紙容器1の使用状態を詳述する。

本実施の形態に係る紙容器1の使用開始前においては、図1、図5に示すように、中央側の取り出し操作用の一対の上下動フラップ3a、3b、一対ずつの側部フラップ4a、4b、側部フラップ4c、4dは容器本体2の上面において平坦な状態となっている。

使用者が容器本体2の内部から紙類Pを取り出す場合には、図6に示すように上下動フラップ3a、3bを2本の指で下方に押し下げる。これにより、上下動フラップ3a、3bは折り目6の部分から立ち下がり、その先端間に最上層の紙

類Pが露出し、使用者は例えば2本の指で一枚目の紙類Pを摘まみ、容器本体2から上方に取り出すことができる。

使用者が容器本体2から一枚目のティッシュペーパー等の紙類Pを上方に取り出す状態を図7、図8に示す。

一枚の紙類Pを上方に取り出す際に、一旦、立ち下がった上下動フラップ3a、3bは紙類Pの上方への移動とともに反転し、折り目6の部分で支持されつつ上向きとなり、相対向する切れ目5が一枚目の紙類Pの両面に接触した状態となる。

また、このとき一対ずつの側部フラップ4a、4b、側部フラップ4c、4dも各々観音開きの状態となり、これら側部フラップ4a、4b、側部フラップ4c、4dの相対向する各切れ目5が一枚目の紙類Pの両面に接触した状態となる。

このようにして容器本体2から一枚の紙類Pを上方に取り出す際に、一枚目の紙類Pと折り畳み関連付けていた2枚目の紙類Pは一枚目の紙類Pと連動して連続的に上方に引き上げられる（3枚目以降の紙類Pも同様）。

そして、一枚目の紙類Pを容器本体2から完全に抜き取った後には、図9に示すように、2枚目の紙類Pの先端部が容器本体2における開口部10に露出するとともに、2枚目の紙類Pの両面に、上下動フラップ3a、3b、側部フラップ4a、4b、側部フラップ4c、4dの相対向する各切れ目5が各々接触した状態となる。

すなわち、上下動フラップ3a、3b、側部フラップ4a、4b、側部フラップ4c、4dは、紙類Pの落下を防止する紙押さえとして機能するとともに、容器本体2内への塵埃、虫等の侵入を阻止する蓋体としても機能する。

このような上下動フラップ3a、3b、側部フラップ4a、4b、側部フラップ4c、4dの各機能は、容器本体2内の積層状態の紙類Pが次々と使用され無くなるまで持続される。

本実施の形態に係る紙容器1によれば、前記開口部10における上下動フラップ3a、3b、側部フラップ4a、4b、4c、4dの各切れ目5を1ピッチが0.1mm以上～3.0mm以下、好ましくは0.1mmの刃形状とした構成に

より、ティッシュペーパー等の紙類Pの取り出し操作性、紙類保持性、衛生面に優れ、しかも、紙容器1の開口時、開封時やティッシュペーパー等の紙類Pの取り出し時における使用者の指を不用意に傷付けることも無く、また、紙類Pの取り出し時におけるティッシュペーパー等の紙類Pの損傷という不都合も生じない各種の高い機能を発揮させることができる。

また、本実施の形態に係る紙容器1によれば、前記従来例のような樹脂製のフィルムの貼付が不要となり、製造コストの低廉化を図ることができ、且つ、紙容器1の廃棄処理時の使用者の手間の簡略化が可能であり、しかも、地球環境にも優しい紙容器1を提供できる。

なお、本実施の形態に係る紙容器1は、ティッシュペーパー用として使用する他、食品等の包装等々に使用する各種の薄紙（ティッシュ）等用としても適用可能である。

【発明の効果】

以上詳述した本発明によれば、製造コストの低廉化を図り、ティッシュペーパー等の紙類の取り出し操作性、紙類保持性、衛生面の確保、更には、使用者の指の傷付きや紙類の損傷という不都合も回避できる高機能の紙容器を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施の形態に係る紙容器の外観を示す斜視図である。

【図2】

本発明の実施の形態に係る紙容器の部分拡大斜視図である。

【図3】

本発明の実施の形態に係る紙容器の切れ目を形成する打ち抜き型を示す概略図である。

【図4】

本発明の実施の形態に係る紙容器の切れ目を形成するウェーブ刃切断具（波刃切断具）を示す斜視図である。

【図5】

本発明の実施の形態に係る紙容器の使用開始前の状態を示す断面図である。

【図 6】

本発明の実施の形態に係る紙容器の使用開始時の状態を示す断面図である。

【図 7】

本発明の実施の形態に係る紙容器の紙類取り出し時の状態を示す断面図である

◦

【図 8】

本発明の実施の形態に係る紙容器の紙類取り出し時の状態を示す斜視図である

◦

【図 9】

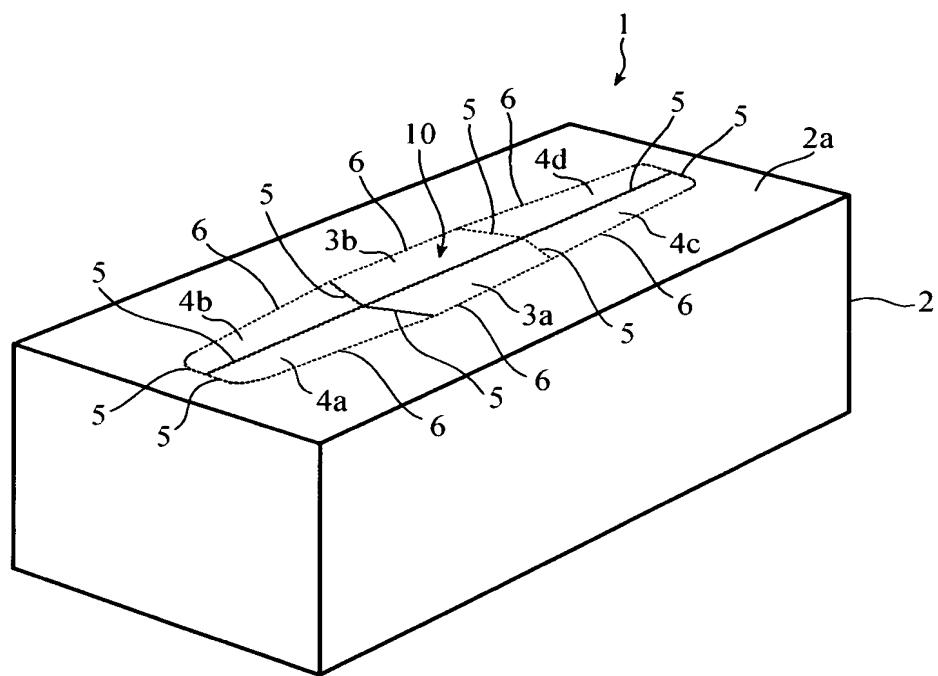
本発明の実施の形態に係る紙容器の一枚目の紙類取り出し後の状態を示す断面図である。

【符号の説明】

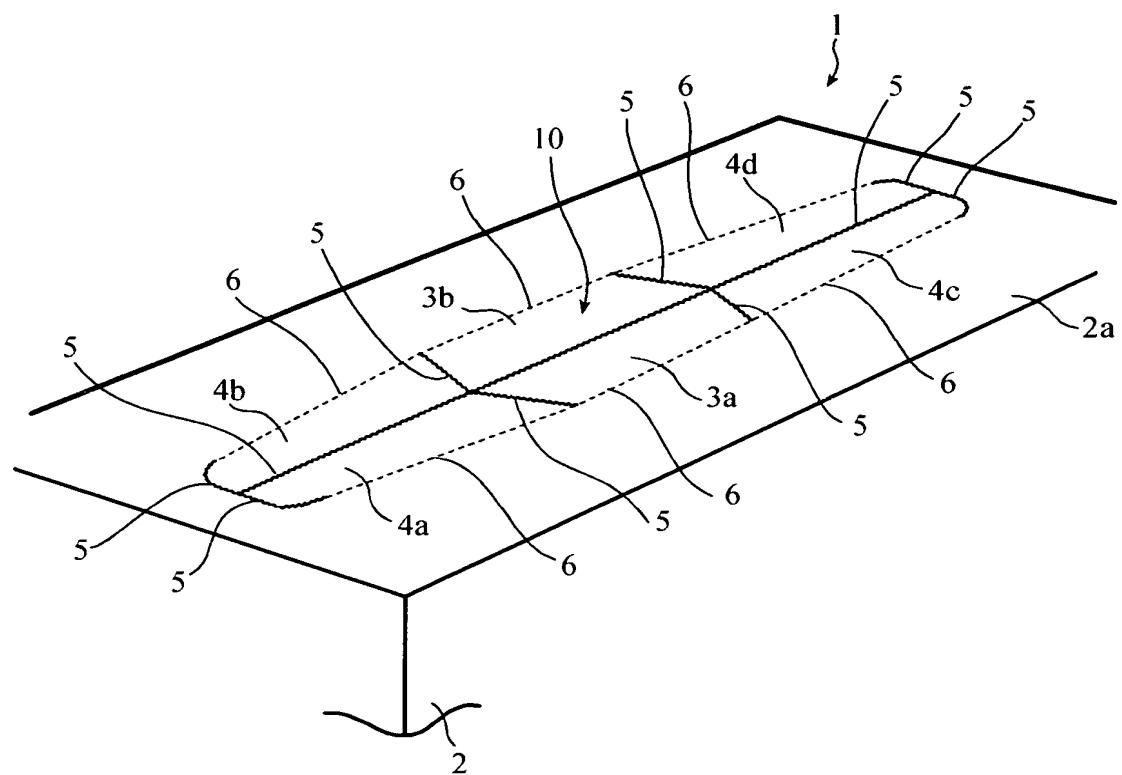
- P 紙類
- 1 紙容器
- 2 容器本体
- 2 a 上辺
- 3 a、3 b 上下動フラップ
- 4 a、4 b 側部フランプ
- 4 c、4 d 側部フランプ
- 5 切れ目
- 6 折り目
- 1 0 開口部
- 1 1 刃部
- 1 2 ウエーブ刃切断具（波刃切断具）
- 1 3 上型
- 1 4 下型

【書類名】 図面

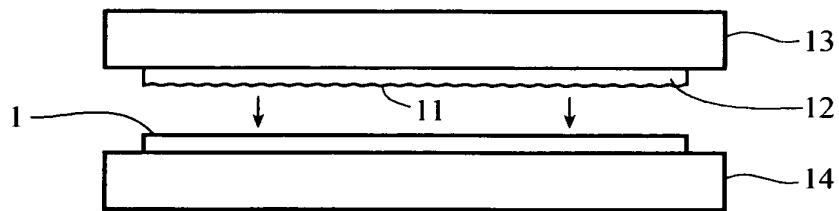
【図 1】



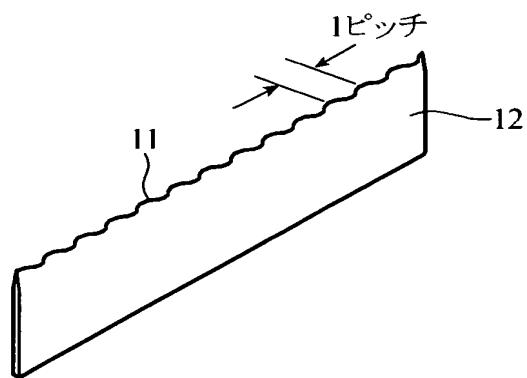
【図 2】



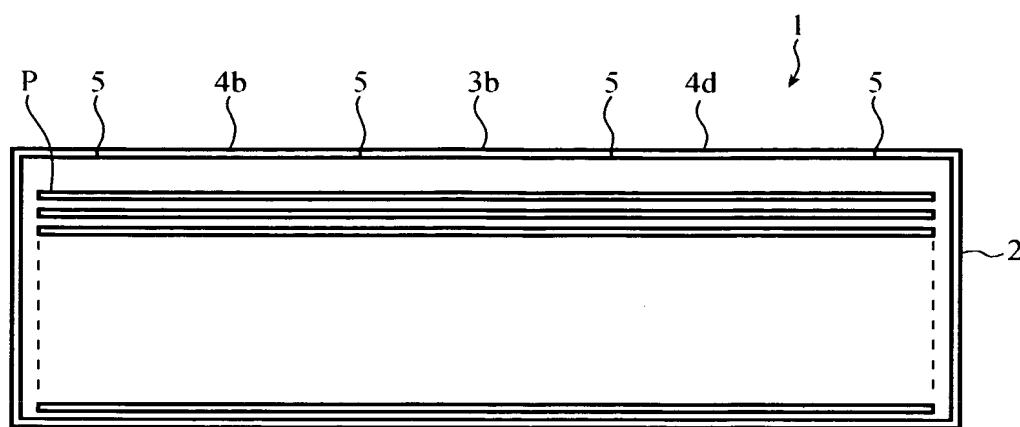
【図 3】



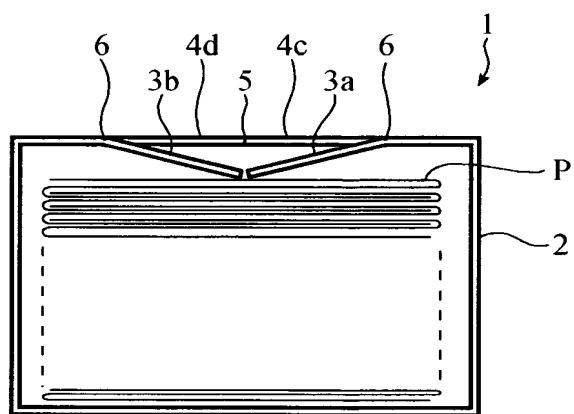
【図 4】



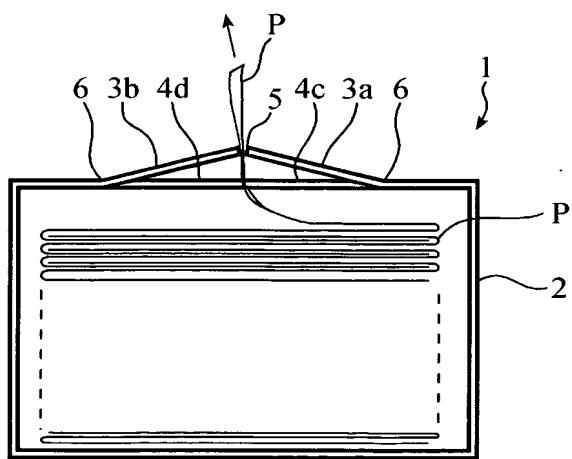
【図 5】



【図 6】

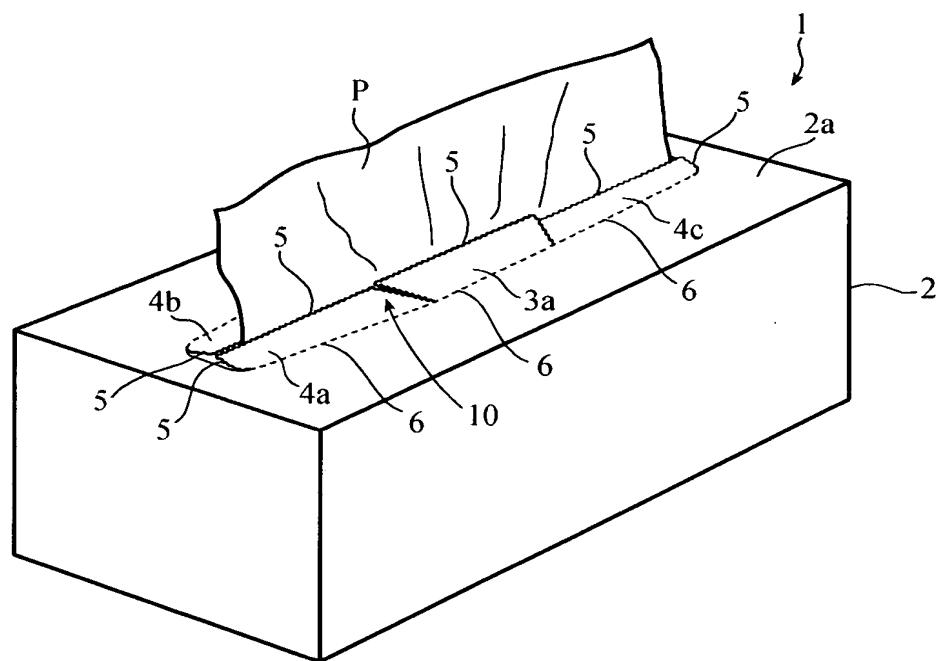


【図 7】

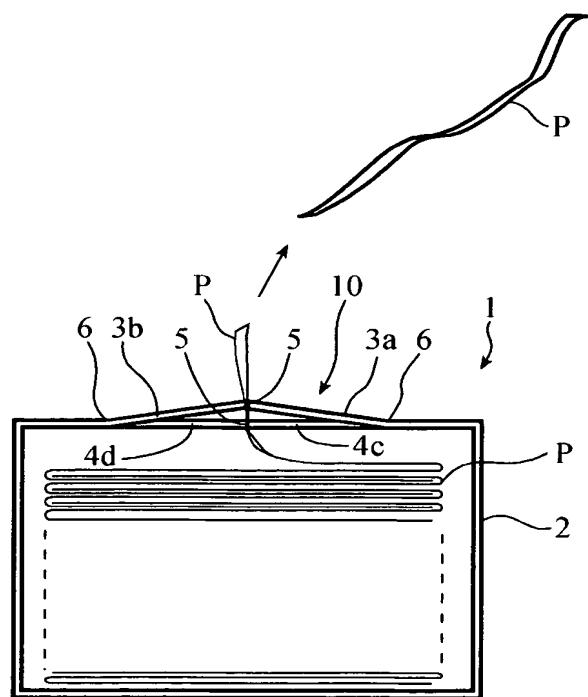




【図 8】



【図 9】



【書類名】要約書**【要約】**

【課題】本発明は、樹脂製のフィルムを不要とし、且つ、ティッシュペーパー等の紙類の取り出し操作性に優れ、使用者の指の傷付きティッシュペーパー等の紙類の損傷という不都合も無い高機能の開口部を備えた紙容器を提供する。

【解決手段】本発明の紙容器1は、ティッシュペーパー等の紙類Pを積層収容する直方体状の容器本体2と、この容器本体2の上面に形成した開口部10とを有する紙容器1であって、前記開口部10を形成する一対の上下動ラップ3a、3b、一対ずつの側部ラップ4a、4bの各切れ目5は、刃部の1ピッチが0.1mm以上～3.0mm以下の範囲のウェーブ刃切断具により形成されたことを特徴とするものである。

【選択図】図2

特願 2003-067221

出願人履歴情報

識別番号 [594176073]

1. 変更年月日 1994年 9月29日

[変更理由] 新規登録

住所 埼玉県児玉郡神川町大字元阿保303番地
氏名 株式会社坂本製作所